

# 和光市総合振興計画 進行管理の仕組みの概要

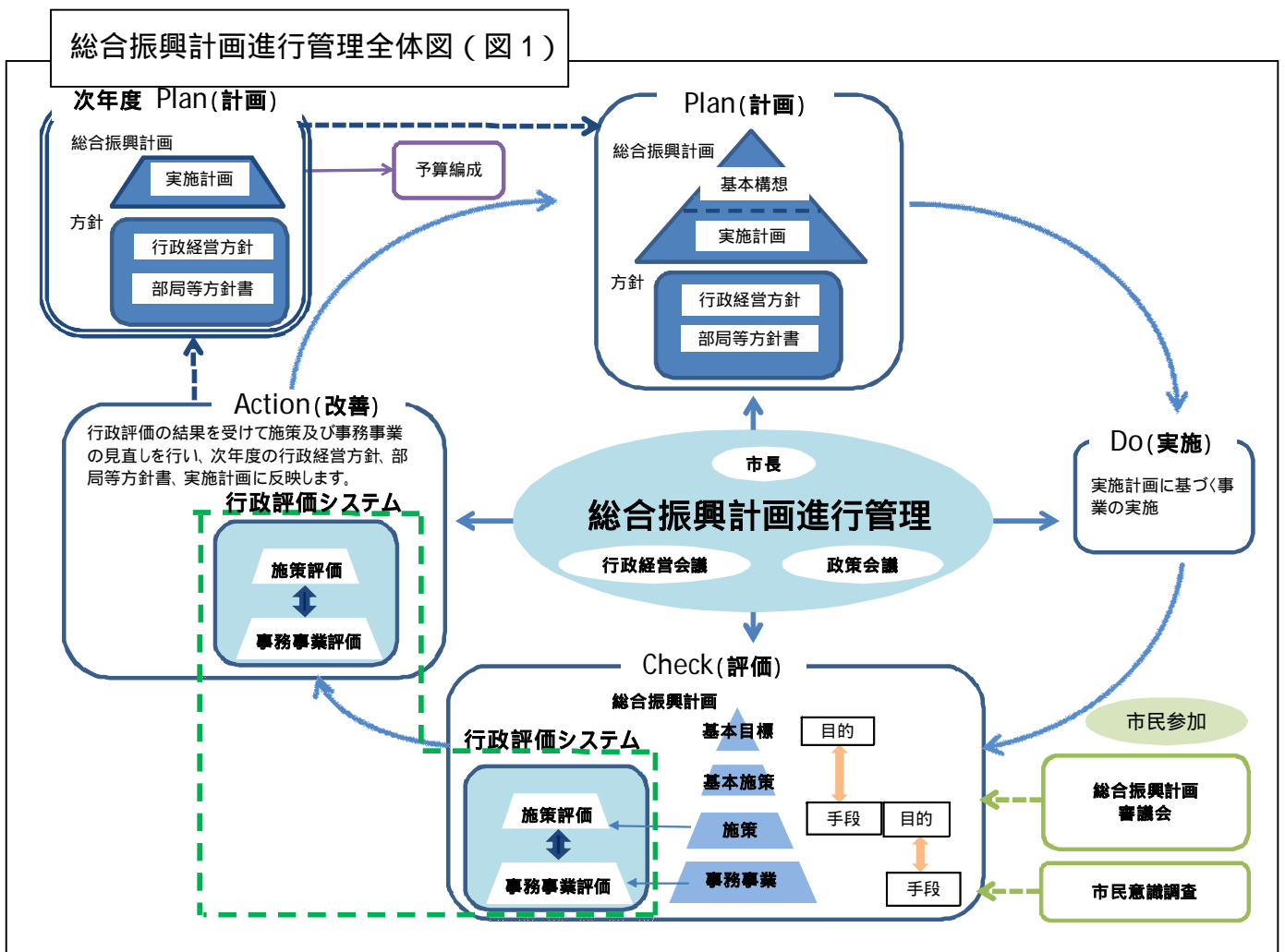
# 【総論】進行管理の仕組み

## 1 和光市総合振興計画進行管理の目的

総合振興計画を進行管理する目的は、社会経済環境の変化や複雑化・多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応しながら、計画を着実に推進することです。

## 2 和光市総合振興計画進行管理の構造（P D C A 各段階の取組）

総合振興計画進行管理の構造は、PDCAサイクル「PLAN（計画）- DO（実施）- CHECK（評価）- ACTION（改善）」を基本とした構造になっており、計画及び方針に基づいて実施した事業を毎年度評価し、改善を図ることで、総合振興計画を進行管理します。（図1）



(1) PLAN (計画)

市政運営の指針となる計画及び方針を策定します。

ア 総合振興計画基本構想 (10年間)

長期的な展望を持ち、将来のまちづくりの目標を示すとともに、市政を総合的、計画的に運営するために、個別分野計画や事務事業の指針を明らかにするものであり、市政運営の最も基本となる計画です。

(現行の計画) 第四次和光市総合振興計画基本構想

イ 総合振興計画実施計画 (3年間)

総合振興計画基本構想に基づく施策・方針を推進するために、事業の優先度を明確にした3箇年の具体的な事業内容を示したもので、予算編成の指針とします。また、毎年度見直しを行い、策定します。

(現行の計画) 第四次和光市総合振興計画実施計画 平成24年度～26年度

ウ 各種方針 (1年間)

(ア) 行政経営方針

総合振興計画基本構想に基づく今後(翌年度)の施策・方針の方向性及び優先度を示すもので、毎年度行政評価結果を踏まえて策定し、実施計画及び部局等方針書の策定の指針とします。

(現行の計画) 平成24年度 和光市行政経営方針

(イ) 部局等方針書

行政経営方針に基づき、各部局において、次年度の施策の方向性・優先度について、検討を行い、部局の方針をまとめます。そして、最終的には、実施計画及び予算編成終了後、部局における重点施策及び重点事業を示し、その具体的な計画・目標を定めます。

(現行の計画) 平成24年度 部局等方針書

(2) DO (実施)

策定した計画及び方針に基づき、事務事業を実施し、施策を推進します。

(3) CHECK (評価)

実施した事務事業及び施策について評価します。

ア 事務事業評価

総合振興計画の施策を構成する事務事業を評価し、成果による目標管理、成果志向への体質改善や職員の意識改革を目的とし、改善内容(今後の事業の方向性)を検討します。

イ 施策評価

総合振興計画に位置付けられた施策・方針を評価し、施策の達成度を確認する

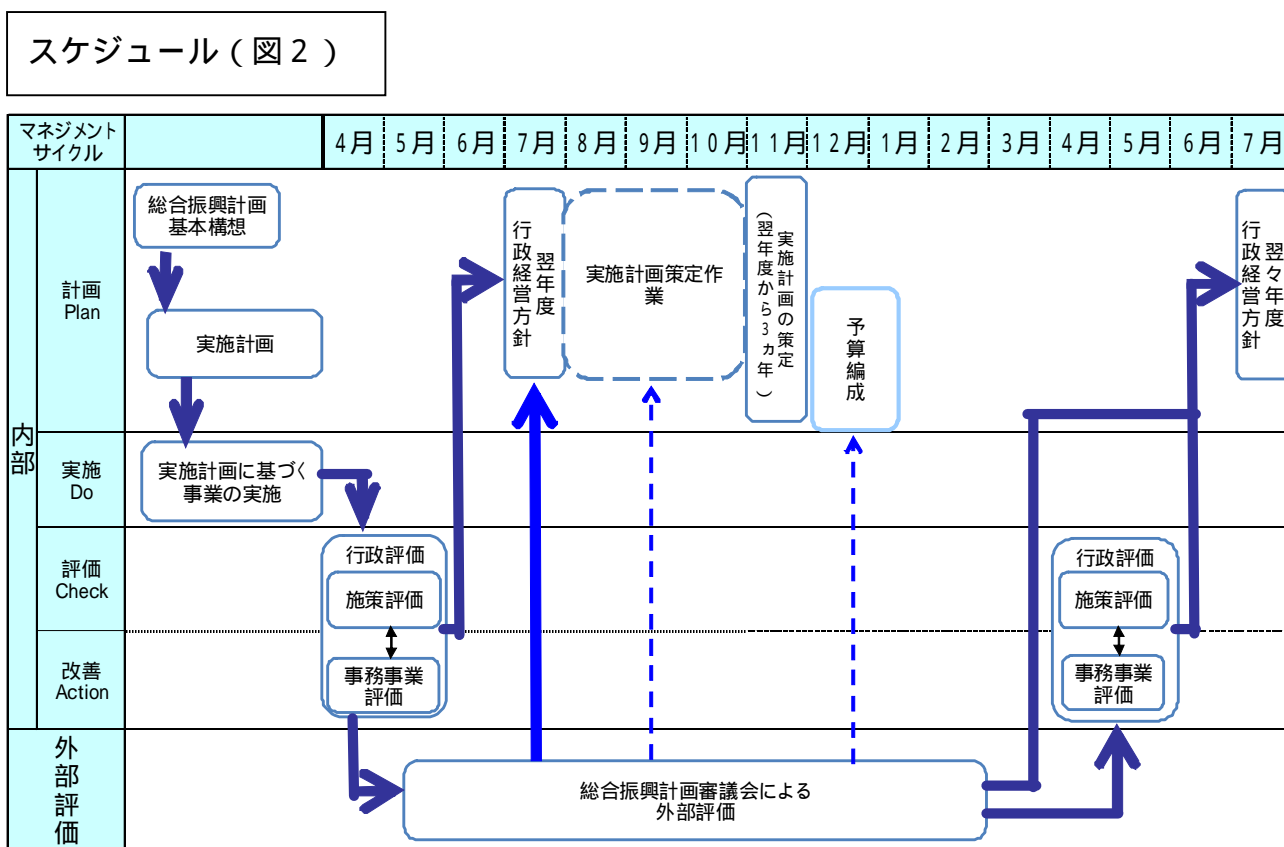
とともに、市民ニーズや満足度を踏まえ、相対的な視点からも今後の方向性を検討します。

(4) ACTION (改善)

行政評価結果を踏まえ、見直しの方向性等を次年度の方針（行政経営方針（市全体の方針）及び部局等方針書（部内の方針））の中で示し、それらに基づく改善を行います。その改善内容は、実施計画に反映します。

### 3 スケジュール

総合振興計画進行管理のスケジュールは次のとおりです。（図2）この一連の流れを毎年度継続して、総合振興計画の進行管理を行っていきます。



# 和光市行政評価システムの概要

# 【各論】和光市行政評価システムについて

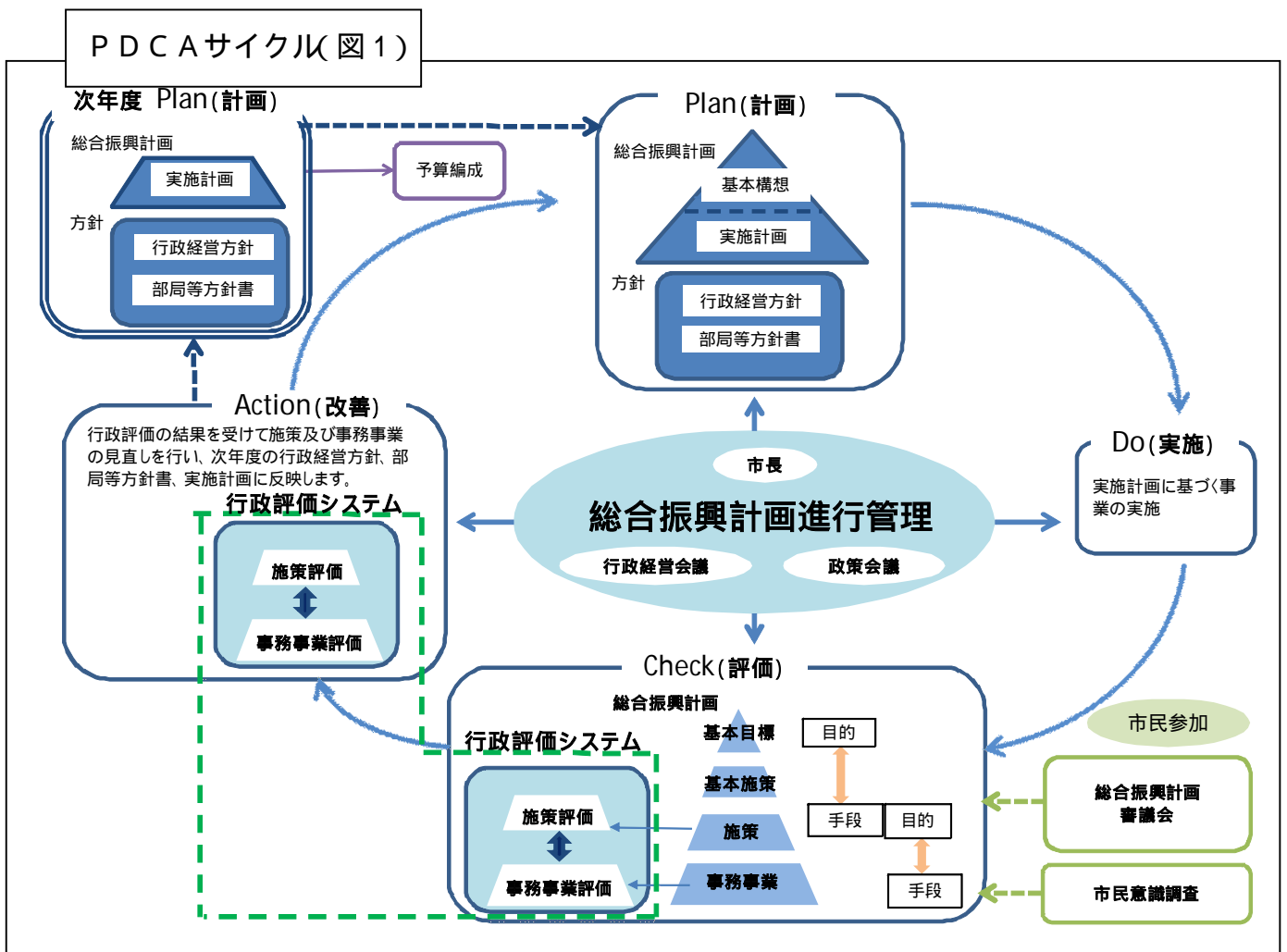
## 1 和光市行政評価システムの目的

本市の行政評価システムの目的は次のとおりです。

- (1) 成果重視の事業の実施を確立し、自治体経営能力を向上させること。
- (2) 市民への説明責任を果たし、市民と行政が情報を共有すること。
- (3) 市民のニーズに合った計画を立案し実施すること。
- (4) 計画の進行管理を行い、計画行政を推進すること。

これらの目的を達成するためにP D C Aサイクル（マネジメント・サイクル）による行政経営を進めます。（図1）

このP D C Aサイクルにおいては、施策評価や事務事業評価の評価結果に基づく見直しを、行政経営方針等の策定、総合振興計画実施計画の策定及び予算編成に反映し、次年度はこれらの計画及び方針に基づき事業を実施していき、行政評価システムを中心とした総合振興計画の進行管理を行います。



## 2 和光市行政評価システムのかたち

和光市行政評価システムは、総合振興計画を基にした「事務事業評価」及び「施策評価」で構成します（図2）

### (1) 事務事業評価

事務事業評価とは、総合振興計画の施策を構成する事務事業（単位は予算事業と同じ。）を評価するもので、成果による目標管理、成果志向への体質改善や職員の意識改革を目的とする担当者の事務改善ツールとして活用するものです。

### (2) 施策評価

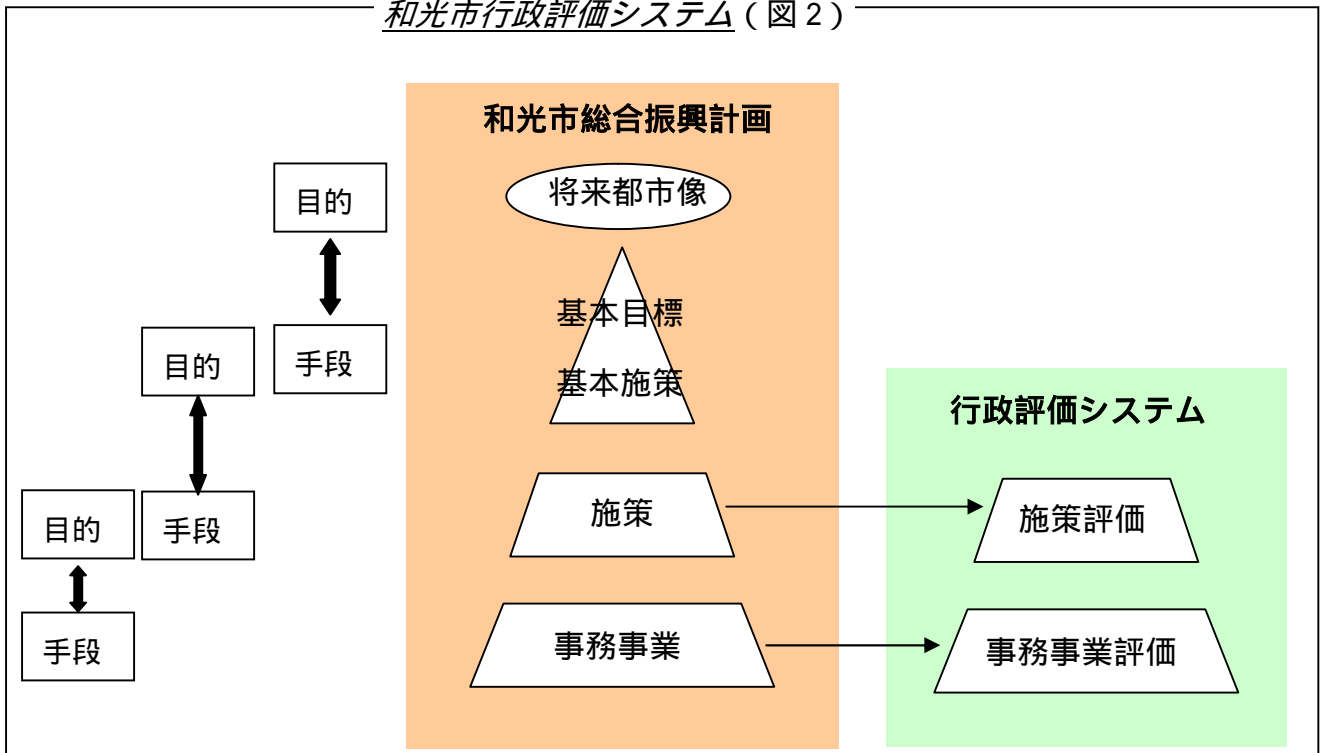
施策評価とは、総合振興計画に位置付けられた施策（方針を含む。以下「施策」という。）を評価するもので、施策の達成度を確認するとともに、市民ニーズや満足度を踏まえ、今後の方向性を明らかにするためのツールとして活用するものです。

#### 事務事業評価及び施策評価の目的

| 事務事業評価                 | 施策評価                |
|------------------------|---------------------|
| ア 成果重視の事業の実施(効率性のチェック) | ア 市民のニーズに合った施策の展開   |
| イ 市民への説明責任(情報の共有)      | イ 戦略性のある総合振興計画の進行管理 |
| ウ コスト意識を含む職員の意識改革      | ウ 事務事業の優先順位付け       |

なお、「施策評価」及び「事務事業評価」の評価対象である施策と事務事業の関係は総合振興計画において、「目的 手段」の関係になっており、施策の目的を達成するために、手段として事務事業が位置付けられています。また、施策は基本施策（基本方針含む。）及び基本目標の目的を達成するための手段、基本目標は将来都市像の目的を達成するための手段となっています。

和光市行政評価システム（図2）





### 3 評価の内容

#### (1) 事務事業評価

##### ア 対象

総合振興計画の施策を構成する事務事業（単位は予算事業と同じ。）

##### イ 評価者

|      |      |
|------|------|
|      | 評価者  |
| 一次評価 | 担当者  |
| 二次評価 | 担当課長 |

##### ウ 方法

事業の成果を把握します。なお、成果については指標を設定し、客観性を確保します。

そして、この成果を踏まえて、「必要性」「公共性」「経済性」「効率性」「有効性」の観点から事務事業を評価し、事業の今後の方向性について総合評価します。

また、事業の今後の方向性については、行政経営方針が策定された後に、行政経営方針に基づいて再度評価します。

##### エ 時期

年度初めに評価を実施します。

行政経営方針が策定された後に、再度事業の今後の方向性の評価を実施します。

##### オ 活用方法

評価結果は、行政経営方針策定、総合振興計画実施計画策定、予算編成の基礎資料として活用します。

#### (2) 施策評価

##### ア 対象

総合振興計画に位置付けられた施策

##### イ 評価者

|      |         |
|------|---------|
|      | 評価者     |
| 一次評価 | 担当課長    |
| 二次評価 | 行政評価委員会 |

行政評価委員会とは、次長級で構成し、全庁的な視点で和光市としての評価を実施する委員会。評価実施後、行政経営会議に報告します。

行政評価委員会から報告を受けた行政経営会議において、市としての評価を行い、行政経営方針に反映させ、政策会議で決定します。

#### ウ 方法

市民のニーズ及び指標等から施策の達成度と今後の課題について評価します。そして、これらの評価を踏まえて、今後の施策の方向性について評価します。

また、施策の目的を実現するため、施策を構成する事務事業について、その妥当性及び優先度を併せて評価します。

なお、今後の施策の方向性については、行政経営方針が策定された後に、行政経営方針に基づいて再度評価します。

#### エ 時期

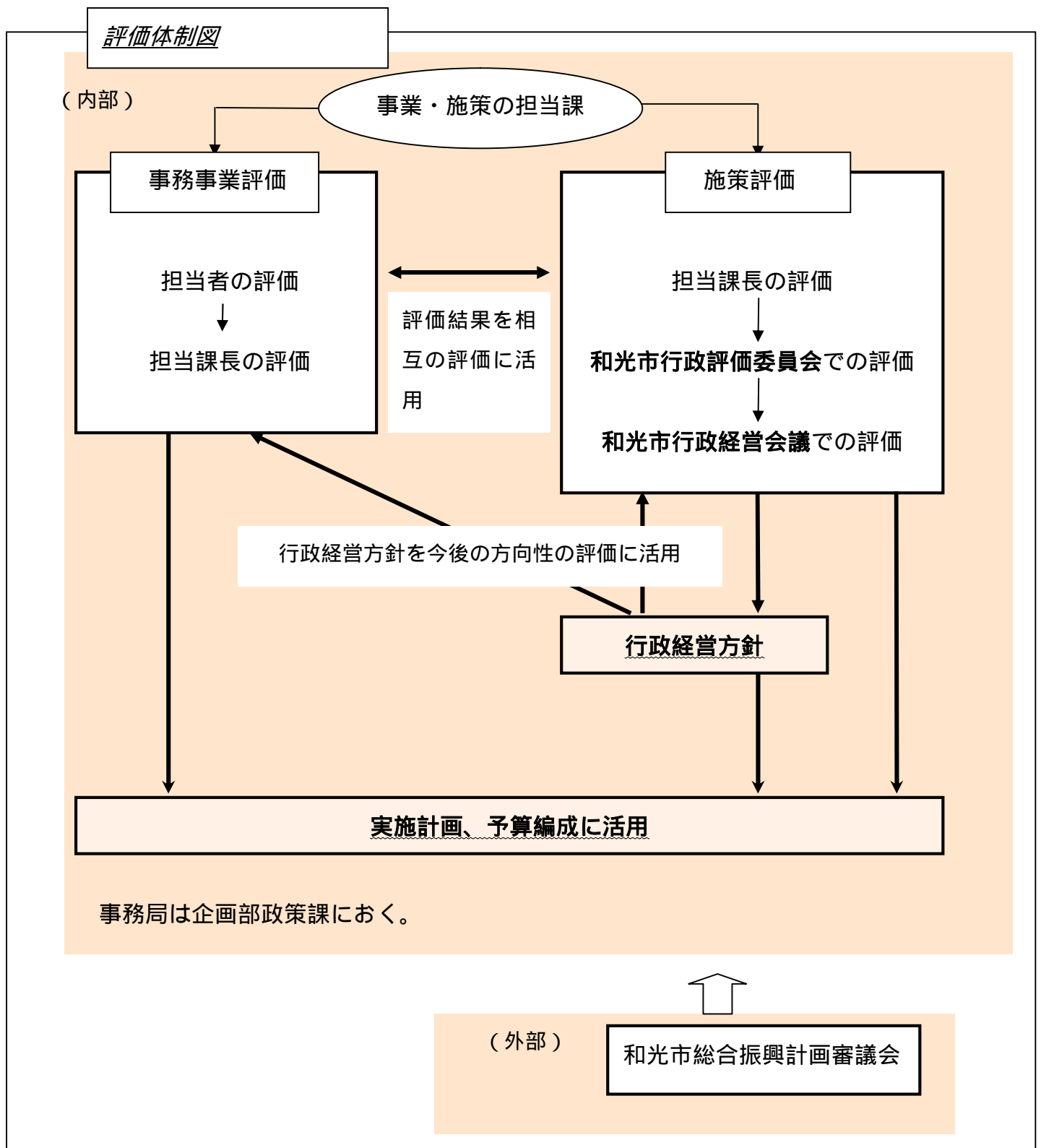
年度初めに評価を実施します。

行政経営方針が策定された後に今後の施策の方向性について再度評価を実施します。

#### オ 活用方法

評価結果は、行政経営方針策定、総合振興計画実施計画策定、予算編成の基礎資料として活用します。

## 4 評価体制



## (1) 内部評価

### ア 行政評価委員会

行政評価委員会は主要部局の次長で組織し、担当課長が評価を行った施策評価について、全庁的な観点から評価し、施策間の優先順位付けを行います。評価結果については、行政経営会議に報告します。

### イ 行政経営会議

行政経営会議は市長、副市長、企画部長及び総務部長で組織し（必要に応じて主要部局長を出席させることができる。）、行政評価委員会から報告を受け、市の施策及び事業等の方向性の案を検討し、行政経営方針の案を策定します（政策会議で最終的に決定する。）。

## (2) 外部評価

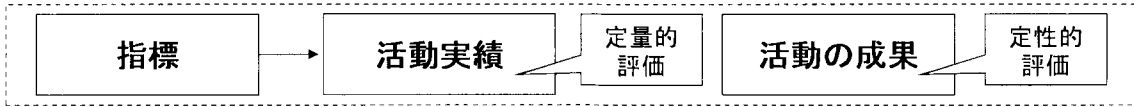
和光市総合振興計画審議会が第三者の視点で客観的に評価します。

## 評価方法～事務事業評価の進め方～

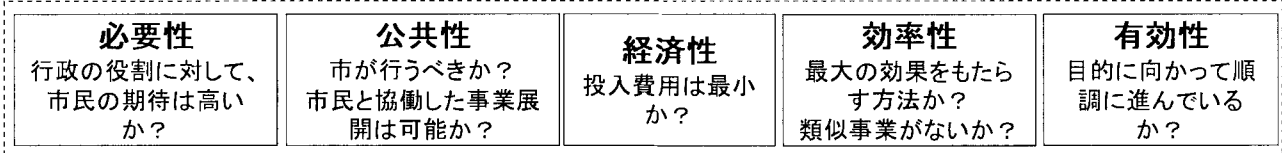
事業内容を明らかにした上で・・・

(「事業区分」「根拠法令等」「対象」「意図・目的」「活動概要」「実施方法」)

### 事業の成果の把握



### 事務事業の評価



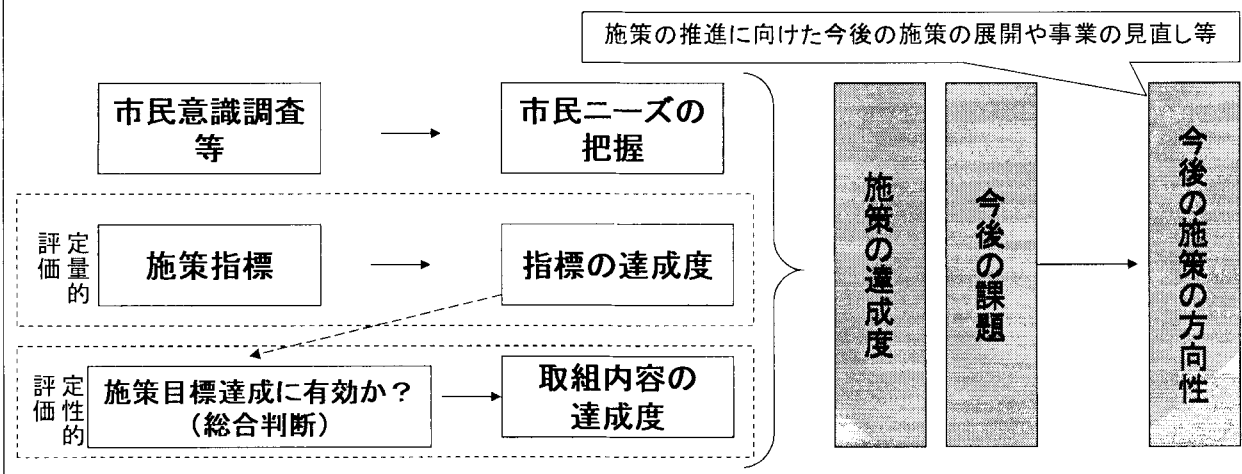
### 事業の今後の方向性

このまま継続?  
改善するか?  
終了するか?

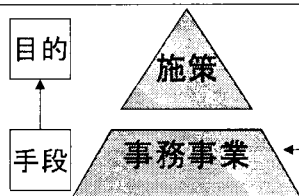
どう改善するか?

## 評価方法～施策評価の進め方～

### ①施策 施策内容を明らかにした上で・・・(「対象」「目的」「現状」「課題」)



### ②事務事業



「施策目標を達成するため」という視点で  
施策を構成する事務事業について評価

事務事業の妥当性

事務事業の優先度

|             |            |            |                           |       |                                      |
|-------------|------------|------------|---------------------------|-------|--------------------------------------|
| 事務事業名       | 総合振興計画進行管理 |            |                           | 計画コード | 6901                                 |
| 所属名(部・課・担当) | 企画部        | 政策課        |                           | 担当名   | 企画調整                                 |
| 基本目標        | V          | 構想の推進に当たって |                           |       |                                      |
| 基本施策        | ii         | 行財政改革の徹底   | 何の施策、どの取組を推進するために行う事業なのか。 |       |                                      |
| 施策          | 69         | 計画的な行政経営   |                           |       |                                      |
| 取組内容番号      | ①          | ②          | ③                         |       | 法令によって、国・県の事業を受けて実施する事業なのか、そうではないのか。 |

1. 事業の概要

|       |   |       |  |
|-------|---|-------|--|
| 事務区分  | 自治事務  | 根拠法令等 |  |
| 対象    | 市民及び市職員   |       |  |
| 意図・目的 | 社会経済環境の変化や複雑化・多様化する市民ニーズに迅速かつ的確に対応する  |       |  |
| 活動概要  | ・行政評価システムにより事務事業の評価及び総合振興計画の施策・方針の達成度をもとに次年度の行政経営の方針を定め、方針に基づく総合振興計画実施計画の策定<br>・総合振興計画審議会により総合振興計画の進行管理を外部の視点から行う。  |       |  |
| 実施方法  | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施<br><input type="checkbox"/> 業務委託又は指定管理 (指定管理者: )<br><input type="checkbox"/> 補助金 (補助先: )<br><input type="checkbox"/> その他 ( ) |       |  |

2. 事業の実績

|     | 指標名           | 単位  | 21年度                            |       | 22年度  |       | 23年度  |       | 24年度           |     | 27年度  |  | 達成度 (%) | 備考 |
|-----|---------------|---|---------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|----------------|-----|-------|--|---------|----|
|     |               |   | 実績値                             | 実績値   | 実績値   | 実績値   | 見込値   | 目標値   |                |     |       |  |         |    |
| 定量的 | 活動実績          | ① 審議会開催回数   | 回                               | 7.0   | 3.0   | 4.0   | 4.0   | 4.0   | 4.0            | 4.0 | 100.0 |  |         |    |
|     |               | ② 事務事業評価実施事業数   | 事業                              | 231.0 | 236.0 | 304.0 | 304.0 | 300.0 | 101.3          |     |       |  |         |    |
|     |               | ③ 廃止・休止とした事業数   | 事業                              | 0.0   | 5.0   | 5.0   | 5.0   | 5.0   | 100.0          |     |       |  |         |    |
|     | 追加指標          | ④   | 事業を行った実績(どのくらい実施したか)、事業を行った結果得た |       |       |       |       |       |                |     |       |  | 0!      |    |
|     |               | ⑤   |                                 |       |       |       |       |       |                |     |       |  | 0!      |    |
| 評価  | 事業費           | 予算額   | 千円                              | 1,237 | 732   | 285   | 3,027 | 備考    |                |     |       |  |         |    |
|     |               | 決算額   | 千円                              | 1,107 | 592   | 285   | -     |       |                |     |       |  |         |    |
|     |               | 財源内訳  | (一般財源)                          | 千円    | 1,107 | 592   | 285   | 3,027 | 事業にかかる事業費及び人件費 |     |       |  |         |    |
|     |               |   | (特定財源)                          | 千円    | 0     | 0     | 0     |       |                |     |       |  |         |    |
|     | 人件費           | 職員数(正規/非常勤)   | 人                               | 0.9   | 0.0   | 0.9   | 0.0   | 0.6   | 0.0            | 0.6 | 0.0   |  |         |    |
|     |               | 職員分   | 千円                              | 5,670 | 5,670 | 3,780 | 3,660 |       |                |     |       |  |         |    |
|     |               | 非常勤分  | 千円                              | 0     | 0     | 0     | 0     |       |                |     |       |  |         |    |
|     | 総事業費(事業費+人件費) | 千円  | 6,777                           | 6,262 | 4,065 | 6,687 |       |       |                |     |       |  |         |    |
| 定性的 | 活動の成果         | 平成22年度に引き続き、行政評価結果を踏まえ「平成24年度行政経営方針」を策定し、明確化した施策・方針の方向性に基づいて、部内のマネジメントの実施及び実施計画を策定した。<br>また、総合振興計画の進行管理において外部評価の仕組みを構築するため、総合振興計画審議会に「総合振興計画の進行管理における外部評価のあり方」について諮問し、答申を受けました。<br>市が市民生活の向上にどれだけ貢献したか。(数 |                                 |       |       |       |       |       |                |     |       |  |         |    |

### 3. 事業の個別評価(1次評価:担当者)(2次評価:所属長)

|     | 個別評価項目  | 1次 | 2次 |
|-----|---|----|----|
| 必要性 | ①【今後の必要性】行政の役割に対する市民の期待及び需要の程度は高いですか                          |    |    |
|     | A 必要性は変わらない B 必要 <b>「必要性(そもそも事業としてニーズがあるか)」</b>               | A  | A  |
| 公共性 | ②【市の関与】市が行うべきものですか  |    |    |
|     | A 市が実施すべき B 市以外 <b>「公共性(市が主体となって行う必要があるか)」</b>                | A  | A  |
|     | ③【市民との協働】NPO等の市民と協働した事業展開は可能ですか。                              |    |    |
|     | A できない B 既に協働して実 <b>「公共性(市民との協働した事業展開はできるか)」</b>              | A  | A  |
| 経済性 | ④【コスト】ある一定の成果・効果をより少ない投入費用で実現する方法を取り入れていますか。                  |    |    |
|     | A 最小である B 削減の余地が <b>「経済性(コストを削減する余地はないか)」</b>                 | B  | B  |
| 効率性 | ⑤【方法の良否】ある一定の投入費用の中で、最大の成果・効果をもたらす方法を選択していますか                 |    |    |
|     | A 最も効果が高い B 改善の <b>「効率性(より良い方法はないか)」</b>                      | B  | B  |
|     | ⑥【類似事業】他課や県などで、類似事業を実施していませんか。それらの事業との統合・連携により効率的な事業展開はできますか。 |    |    |
|     | A 統合・連携できない B 統合 <b>「効率性(他の類似事業はないか)」</b>                     | B  | B  |
| 有効性 | ⑦【達成度】所期の目的や目標に向かって順調に進んでいますか                                 |    |    |
|     | A 進んでいる B 進んでいない <b>「有効性(順調に進んでいるか)」</b>                      | A  | A  |

### 4. 事務事業の総合評価(1次評価:担当者)

|        |   |   |    |
|--------|---|---|----|
| 課題     | 再構築を行なった総合振興計画の進行管理の<br>に応じ改善を行っていくことが必要である。  | <b>「担当者が事業の課題、方向性(「継続?」「改善?」「終了?」)を評価</b> | 必要 |
| 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) |   |    |

### 5. 事務事業の総合評価(2次評価:所属長)

|        |   |   |     |
|--------|---|---|-----|
| 事業の方向性 | <input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) |   |     |
|        | 総合振興計画の進行管理の仕組みにつ<br>から答申を受けた「外部評価のあり方」に基づき、<br>かつ有効に施策推進プログラムに反映させていく  | <b>担当課長が事業の方向性(「継続?」「改善?」「終了?」)、「何が課題となるか?」を評価。</b> | 議会的 |

### 6. 行政経営方針に基づく事業の方向性(所属長) ※方針策定後に記入

|                |   |  |   |
|----------------|---|--|---|
| 事業の方向性         | <input type="checkbox"/> このまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 終了(廃止・休止) |  |   |
| 取組内容<br>(改善内容) | 平成24年度は市民意識調査や総合振興計<br>活用していく。  | <b>行政経営方針に基づき、再度、事業の方向性(「継続?」「改善?」「終了?」)、改善内容を評価</b> | を |



|     |      |          |       |                 |     |              |
|-----|------|----------|-------|-----------------|-----|--------------|
| 記載例 | 施策番号 | III-i-32 | 重点プラン | 2 安心していきいきと暮らせる | 施策名 | 多様な保育サービスの推進 |
|-----|------|----------|-------|-----------------|-----|--------------|

|     |        |     |       |
|-----|--------|-----|-------|
| 所管課 | 子ども福祉課 | 関係課 | 生涯学習課 |
|-----|--------|-----|-------|

1. 施策の概要 第四次和光市総合振興計画のどの基本目標、基本施策を推進する施策なのか

|           |  |            |
|-----------|--|------------|
| 対象        | 保護者が就労や病気等の理由により、家庭において誰のために推進するのか   | 幼児         |
| 目的        | 働く保護者が、安心して子どもを預けられる環境を整へ何のために推進するのか   | に育つようにします。 |
| 現状(計画策定時) | 本市は子育て世帯が多いことから、多様な保育ニーズに対応するため、次世代育成支援行動計画に基づき、保育園では、乳児保育・延長保育・休日保育・年末保育・病後児保育といった保育サービスを実施してきました。さらに、放課後健全育成事業(保育クラブ)については、他市に先駆けて実施してきました。また、市民ニーズの把握度までの間で、民設園4園(定員230名)を整備し、待機児童の解消に努めています。また、家庭保育室を利用しやすい環境づくりにより若い世代が多く在住していることなどから、保育園への入園申請者数や一時保育(一時預かり事業)利用希望者は、年々増え続けている状況となっています。 | 施策の状況はどうか  |
| 課題(計画策定時) | 保育園、保育クラブの待機児童の解消や一時保育の利用率の向上が求められています。また、家庭保育室を利用しやすい環境づくりにより若い世代が多く在住していることなどから、保育園への入園申請者数や一時保育(一時預かり事業)利用希望者は、年々増え続けている状況となっています。  | 何が課題か      |

2. 施策指標の達成度(定量的評価) どの課が推進するのか 目標はどのくらいか

| 計画に指し示す | 指標名                      | 単位 | 年度         | H21                                   | H22  | H23  | H24  | H25 | H26 | H27  | H32  | 平成27年度目標値に対する進捗率(%) |
|---------|--------------------------|----|------------|---------------------------------------|------|------|------|-----|-----|------|------|---------------------|
|         |                          |    |            | 目標値                                   | 実績値  | 目標値  | 実績値  | 目標値 | 実績値 | 目標値  | 実績値  |                     |
| ①       | 保育園待機児童数                 | 人  | 目標値<br>実績値 | 64.0                                  | 93.0 | 61.0 | 45.0 |     |     | 0.0  | 0.0  | #DIV/0!             |
|         |                          |    |            | 3.0                                   | 2.0  | 0.0  | 0.0  |     |     | 0.0  | 0.0  | #DIV/0!             |
|         |                          |    |            | 21.8                                  | 21.8 | 21.8 | 24.4 |     |     | 32.0 | 43.0 | 68.1                |
| ②       | 保育クラブ待機児童数               | 人  | 目標値<br>実績値 |                                       |      |      |      |     |     |      |      | #DIV/0!             |
|         |                          |    |            |                                       |      |      |      |     |     |      |      |                     |
| ③       | 子育て環境が十分であると<br>感じる市民の割合 | %  | 目標値<br>実績値 |                                       |      |      |      |     |     |      |      | #DIV/0!             |
|         |                          |    |            |                                       |      |      |      |     |     |      |      |                     |
| 補足指標    | ④                        |    | 目標値<br>実績値 | 実績(どれだけ行ったか。どれだけ成果があったか)と当年度どれだけ見込めるか |      |      |      |     |     |      |      | #DIV/0!             |
|         |                          |    |            |                                       |      |      |      |     |     |      |      | #DIV/0!             |

|   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 施策指標の達成度に関する評価                              | 理由                                 |
| A 目標をほぼ達成する B 目標をやや下回る C 目標を下回る D 目標を大幅に下回る | B 保育園の施設整備が遅れているため、待機児童の解消に努めています。 |

3. 施策の取組内容の達成度(定性的評価)

| 取組番号 | 取組内容            | 取組内容の評価   |  | 事務事業名         | 課所名    | 備考        | 事務事業評価結果 | 事業費           |         |           |               |         |           |               |         |           | 今後の方向性   |      |      |
|------|-----------------|---|--|---------------|--------|-----------|----------|---------------|---------|-----------|---------------|---------|-----------|---------------|---------|-----------|----------|------|------|
|      |                 | 活動の成果・進捗状況  | 未達成事項・解決していない課題  |               |        |           |          | 平成22年度決算額(千円) |         |           | 平成23年度決算額(千円) |         |           | 平成24年度予算額(千円) |         |           | 構成事業の妥当性 | 優先度  |      |
|      |                 |   |  |               |        |           |          | 総額(A)         | 特定財源(B) | 一般財源(A-B) | 総額(A)         | 特定財源(B) | 一般財源(A-B) | 総額(A)         | 特定財源(B) | 一般財源(A-B) |          | 1次評価 | 2次評価 |
| ①    | 保育園の待機児童の解消     | 保育園の待機児童については解消されていない状況だが、新設保育園の整備として、施設整備補助を実施することで民間保育園の誘致を行い、萌の木保育園を開園した。  | 保育園の改修や民間保育施設支援などを計画的に行うとともに、待機児童の解消のための新設保育園の整備として、開園した萌の木保育園に加え、引き続き民間保育園を施設整備補助などにより支援・誘致していく必要がある。また、現在の現状が連携をとる各保育者が生じることがある。 | しらか保育園管理運営    | 子ども福祉課 | このまま継続    | 101,743  | 32,302        | 69,441  | 103,875   | 31,510        | 72,365  | 108,974   | 33,750        | 75,224  | ○         | B        | B    |      |
|      |                 |   |  | 保育園管理運営       | 子ども福祉課 | 改善して継続    | 22,632   | 161           | 22,471  | 15,434    | 169           | 15,265  | 9,584     | 170           | 8,414   | ○         | B        | B    |      |
|      |                 |   |  | みなみ保育園管理運営    | 子ども福祉課 | このまま継続    | 165,997  | 58,988        | 107,009 | 162,657   | 57,031        | 105,626 | 171,000   | 58,111        | 108,551 | ○         | B        | B    |      |
|      |                 |   |  | 公設民営保育園運営     | 子ども福祉課 | 改善して継続    | 571,010  | 118,483       | 452,527 | 580,000   | 118,483       | 461,517 | 468,202   | 118,483       | 349,719 | ○         | A        | B    |      |
|      |                 |   |  | 民間保育園運営       | 子ども福祉課 | 改善して継続    | 457,207  | 271,943       | 185,264 | 540,000   | 271,943       | 268,057 | 266,365   |               |         | ○         | A        | B    |      |
|      |                 |   |  | 管外保育児童運営      | 子ども福祉課 | 改善して継続    | 93,375   | 30,928        | 62,447  | 78,957    | 30,322        | 48,635  | 77,529    | 24,551        | 52,978  | ○         | B        | B    |      |
|      |                 |   |  | 休日保育管理        | 子ども福祉課 | このまま継続    | 5,192    | 1,024         | 4,168   | 4,740     | 992           | 3,748   | 4,741     |               | 3,904   | ○         | B        | B    |      |
| ②    | 保育クラブの待機児童の解消   | 選考基準の見直し及び利用可能な施設の活用などにより待機児童の解消は図れた。   | 今後も児童数の動向は常に把握しておく必要がある。   | 保育園管理運営       | 生涯学習課  | 改善して継続    | 290,339  | 73,822        | 216,517 | 243,800   | 73,822        | 170,000 | 171,837   | 0             | ○       | B         | B        |      |      |
|      |                 |   |  | 家庭保育室         | 子ども福祉課 | 改善して継続    | 19,172   | 0             | 19,172  | 51,000    | 0             | 51,000  | 0         | 51,000        | 61,461  | ○         | A        | A    |      |
| ③    | 家庭保育室利用保護者の負担軽減 | 家庭保育室の保育料の保護者の負担軽減を0~2歳児において軽減を図った。   | 認可園との保育料の差をできるだけ縮め、低所得者層を支援する必要がある。また、認可保育園に入れない3歳児以上の支援策の検討が必要である。  | 一時保育管理運営      | 子ども福祉課 | 改善して継続    | 54,280   | 31,602        | 22,678  | 53,356    | 21,939        | 31,417  | 53,345    | 20,984        | 32,361  | ○         | C        | C    |      |
|      |                 |   |  | 一時保育管理運営      | 子ども福祉課 | 終了(廃止・休止) | 1        | 1             | 0       | 1         | 1             | 0       | 0         | 0             | 0       | 0         | ○        | -    | -    |
| ④    | 一時保育の拡充         | 一時保育を実施することにより、保護者の子育てと就労を支援し、保育に欠ける児童の福祉の向上を図るとともに、保育に欠けていない児童に対しても社会的行事における預かり等を行うことにより、保護者の子育てに対する負担軽減を図ることができた。 | 一時保育の未実施保育園・新設保育園への支援をしていくことが必要である。また、事業の拡充に向けて、受付方法や料金改定などの検討が必要である。  | 一時保育管理運営      | 子ども福祉課 | 改善して継続    | 54,280   | 31,602        | 22,678  | 53,356    | 21,939        | 31,417  | 53,345    | 20,984        | 32,361  | ○         | C        | C    |      |
|      |                 |   |  | 一時保育管理運営      | 子ども福祉課 | 終了(廃止・休止) | 1        | 1             | 0       | 1         | 1             | 0       | 0         | 0             | 0       | 0         | ○        | -    | -    |
| ⑤    | 新たな保育ニーズへの対応    |   | 保護者の就労形態に関わらず、子育て支援事業を実施することも総合施設整備の検討が必要である。  | 件費以外予算を伴わない取組 | 子ども福祉課 |           |          |               |         |           |               |         |           |               |         |           |          |      |      |
|      |                 |   |  | 件費以外予算を伴わない取組 | 子ども福祉課 |           |          |               |         |           |               |         |           |               |         |           |          |      |      |

4. これまでの取組に関する施策全体の総合評価

|   |   |
|---|---|
| 総合評価  | 理由(施策全体の進捗状況・解決していない課題など)   |
| A 順調に進んでいる<br>B ほぼ順調に進んでいる<br>C あまり順調に進んでいない<br>D 順調に進んでいない | 多様な保育ニーズに対応するための個々の保育の取組は順調に進んでいるが、待機児童の解消に向けての取組である保育園の整備が遅れている。<br>判断する根拠は? 課題は?<br>施策は順調に進んでいるのか |
| 当市のサービス水準   | 理由(近隣他市との比較)  |
| A 高い<br>B 普通<br>C 低い  | 保育園全園で乳児(0歳児)保育・延長保育を実施していることや公立園での一時保育・病後児保育を実施しているため。施策のサービス内容について、そのサービス水準が近隣他市と同等である。           |

5. 今後の施策の方向性(施策の推進に向けた今後の施策の展開や事業の見直し等)【1次評価(所管課)】

|      |  |                |     |             |   |
|------|--|----------------|-----|-------------|---|
| 1次評価 | 待機児童解消に向け、施設整備をすすめていき、家庭保育室や一時保育室を含め、全施設が引き続き対象者の方向性の高い保育を行うことができるよう環境を整えていく必要がある。 | 対象者の方向性(増減)(%) | 110 | 基本目標に対する貢献度 | A |
|------|--|----------------|-----|-------------|---|

6. 今後の施策の方向性【2次評価(行政評価委員会)】

|      |  |                               |
|------|--|-------------------------------|
| 2次評価 | 市政全体に対する財政的な影響や人口動向を十分勘案した計画的な待機児童対策を行うこと。 | サービス水準(現状・方向性)、コストの方向性を評価します。 |
|      |  | 現状 方向性(目標水準) 方向性              |
|      |  | B ↑(A) ↑                      |

7. 今後の施策の方向性(次年度行政経営方針)

|                             |
|-----------------------------|
| 行政経営方針における今後の施策の方向性         |
| サービス水準 コスト                  |
| 現状 方向性 方向性                  |
| B ↑ ↑                       |
| 待機児童の解消のため、新設保育園の誘致を重点的に進める |